

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 3 部門第 2 区分

【発行日】 令和 4 年 5 月 10 日 (2022.5.10)

【公開番号】 特開 2022-65024 (P2022-65024A)

【公開日】 令和 4 年 4 月 26 日 (2022.4.26)

【年通号数】 公開公報 (特許) 2022-075

【出願番号】 特願 2022-17196 (P2022-17196)

【国際特許分類】

A 61 K 31/353 (2006.01)

A 61 P 27/02 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

【FI】

A 61 K 31/353

A 61 P 27/02

A 61 P 43/00 111

10

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 4 月 26 日 (2022.4.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ドライアイを治療するための、約 0.03 ～ 約 3.0 w/v % の (E) - 2 - (7 - トリフルオロメチルクロマン - 4 - イリデン) - N - (7 - ヒドロキシ - 5, 6, 7, 8 - テトラヒドロナフタレン - 1 - イル) アセトアミド、又はその薬学的に許容可能な塩若しくは溶媒和物を含む、組成物。

20

30

【請求項 2】

(E) - 2 - (7 - トリフルオロメチルクロマン - 4 - イリデン) - N - (7 - ヒドロキシ - 5, 6, 7, 8 - テトラヒドロナフタレン - 1 - イル) アセトアミドが、(E) - 2 - (7 - トリフルオロメチルクロマン - 4 - イリデン) - N - ((7R) - 7 - ヒドロキシ - 5, 6, 7, 8 - テトラヒドロナフタレン - 1 - イル) アセトアミドである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記ドライアイは、自覚症状を伴うものである、請求項 1 又は請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記ドライアイは、眼不快感を伴うものである、請求項 3 に記載の組成物。

40

【請求項 5】

前記ドライアイは、乾燥に伴う眼不快感を伴うものである、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記ドライアイは、他覚症状を伴うものである、請求項 1 又は請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記他覚症状が、角膜上皮障害を含む、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記ドライアイは、自覚症状および他覚症状を伴うものである、請求項 1 又は請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 9】

50

前記(E)-2-(7-トリフルオロメチルクロマン-4-イリデン)-N-(7-ヒドロキシ-5,6,7,8-テトラヒドロナフタレン-1-イル)アセトアミド、若しくは(E)-2-(7-トリフルオロメチルクロマン-4-イリデン)-N-((7R)-7-ヒドロキシ-5,6,7,8-テトラヒドロナフタレン-1-イル)アセトアミド、又はそれらの薬学的に許容可能な塩若しくは溶媒和物の濃度が、約0.3~約1.0w/v%である、請求項1~8のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項10】

点眼剤である、請求項1~9のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項11】

懸濁液である、請求項1~10のいずれか1項に記載の組成物。

10

【請求項12】

懸濁点眼剤である、請求項1~11のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項13】

前記ドライアイは、涙液減少型ドライアイである、請求項1~12のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項14】

眼不快感の自覚症状が認められ、ドライアイと診断された患者に、前記組成物を投与することを特徴とする、請求項1~12のいずれか1項に記載の組成物。

20

30

40

50